（二日夕刊）
磐城新聞
休刊　大祭日　第一第三日曜
定價　壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵税十錢
廣告料　二行五十錢（指定廿錢増）
發行兼編輯印刷人　遠沼龍輔
福島縣平町田町拾六
發行所　磐城新聞社　電話五六四番

優詔論の模型

わかみや生

◎マルクスを覺わただけの者が、マルクス以外に思想はないと考へるが如く、法律を學んで頭が一杯になつた學者先生等は法律上の手續だけで、世の中が治まるものと認めて居る。法律とは如何なる物ぞ、その起原に於ては多くは立法部の甚だ見苦しき妥協の結果であることもあり、その適用に於て「一國の危機に際して法律は眠る」といふ極端な場合もあるのである。言ひ換へれば法律の前に或物があり、法律の後に或物があつて法律の成立を助け、法律の効用を補ふから法律に法律の効用があるのである。單なる法律の手續だけを中心として此の法律の前後を忘却したならば社會は形式本位に墮了して、人間は三百代言化するに至るのだ。此の三百代言化的優詔論の一摸型は上杉愼吉博士の主張である。

◎上杉博士は頗る大袈裟に所謂優詔問題を解釋して曰く「國務大臣が責任を少しなりとも回避し君命を奉じたるのみといひ、自らこれに對して何の責任をも負はせぬとするに至つては致し方ないといひ……君は憲法、國務大臣を置きたる所以は全然無意味となり、皇位は輔弼人なき孤立の地位となり大權行動は麻痺し憲政に悉く破壞せられるのである」と。

◎水野文相の辭職は久原氏の無理押その間に摩擦的に起つた一種の偶發的特定事實を捉へて故ら之を法律的一般論に捏ちあげ、三百的言の詭辯を弄して憲法の國務大臣を設けた趣意を無意味にならせといひ、皇位が孤立になるといひ、大權行動が麻痺するといひ憲政が悉く破壞されるといふに至つては、小題大做の法律的曲[illegible]餘りに骨がれ過ぎはせぬ乎

◎三十年前、東京市が水道鐵管の敷設を始めたとき水道から蛭が出て物議を釀した事がある。當時、松村介石氏は大いに此の事實を憤慨してこれ亡國の兆なりと斷じたことがある。松村氏の理由にいふ、一國の基礎は道義に在り道義の廢頽は則ち亡國の兆である而して水道の中から此の如き意外な物の出るのは道義廢頽の何よりの鐵證である、と

◎當時、記者は外國に居て「ジャパン、メール」週報を讀むで日本の事情を心得て居た。此の松村氏の亡國論に加へたブリンクリー氏の評語にいふ、水道から出た蛭は恐らくは技術上の不慣れに關係した一種の不幸な一件であらうが、此の實から一躍して亡國まで行くのは餘りに早まり過ぎであり、且つ餘りに悲觀に過ぎると。事實に於て日本は東京市の水道鐵管から出た蛭の爲に亡びて居ない

◎同様に、田中首相と水野文相との摩擦に生じた手續的一件の爲めに果して日本の憲政は悉く破壞されるであらう乎。敢て上杉博士の存在を質す。

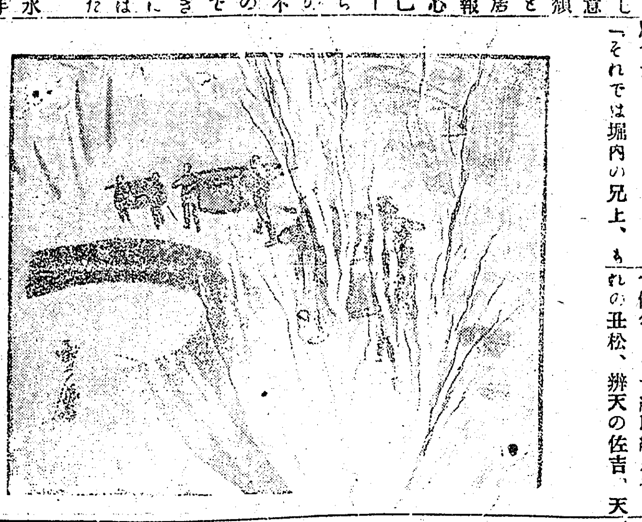
※明日の吉凶※
舊四月十六日　新六月廿二日

▲一白　人の爲に勞して却て怨みを受くる注意日▲二黑　獨斷專行に誤りを生じ易し目上に問ひて吉▲三碧　進途壯んなれども實益には緣薄し金談凶▲四綠　誠意を盡しても先方はそれに認めざる日▲五黄　進んで事を謀る時は敵を求むる事あり注意▲六白　氣を腐らさず本業大切に守れば吉日となる▲七赤　何事も徐々に進みて秩序あれば吉[illegible]最も吉▲八白　前途の見込みに迷ひを生ずる日飲食も注意▲九紫　運氣上吉にて少しは無理と思ひし事も通る

講談　闇に閃く男達

(104)　高田涙川作　尾崎雪齋畫

新吉救助の策



新吉である夢を確めた元右エ門は一時も早く石川正春らに知らさねばならぬと思つた。

「それでは堀内の兄上、もしあなたがこゝにお出でになるかしかと分らぬ故、荷物を一つ宿へたのんで參つてこれからすぐとつてまゐります、どうかしばらくの間猶豫下さいませ」

「よろしい、なるだけ早く取つてくるよい」

「承知いたしました」

元右衛門はとぶが如くにして宿に歸り參つた

「先生大變でございます」

「オ、その方が大變といふなにお多福　新吉はもはや殺されてぬか」

「イヤ殺されてはおりません、實はかやう〜でございました」委細を物語つた

「左様か、殺されてたらぬとあれば重疊、只今からでもその火柱の宅へ參り奪ひ返せばそれまでだ、これでは拙者の面体を知れ大和田や堀内を取りにがしてはそれこそ一大事、よつて拙者の考へはかく〜いふ手順にいたさう」

三人協議の上、元右衛門は正春より何か計略を授けられ再び火柱の宅へ引返した

「親分只今歸りました、今少し早く歸らねばならぬ處おそくなりまして相すみません」

「イヤ〜たかへり……ためえさんもう用意はできたのか」

「ハイ、スツカリ用意をして參りました」

その中に追々子分の者も集まつてくる、すべて三百五十餘名、まづ總取締が切られの丑松、辨天の佐吉、天神の太造、妙見大吉ら代官小佐々木佐太夫はいかに緣にながらとはいへ、自身に出張るわけに行かぬから、自分の組下で六尺棒の名人水口文吉といふをつけてやる、もし源左工門の方が都合よく勝利を得ればよいがもし形勢惡くなれば佐々木佐太夫は高田元右衛門は今一同出掛んといふ際ししきりに顔をしかめてゐる

「どうしたのだ濱田先刻より大變に妙な顔をしてゐるではないか」

堀内小源太は不思議に思ひたづねた

「どうぢや兄上、今日宿屋で少し惡いと思つた肴を食たがわかつたと見へ、先刻よりキリ〜腹がいたみ[illegible]方がありません、[illegible]はあなた方と一緒に參る事はなりません、今萬金丹をのみましたから、今少しすればよくなると思ひます、誠に相すみませんが一足お先へおいで下さいませ、よくなり次第すぐあとよりおひかけます」

元右衛門はもう今にもたまらん様な顔つきで語る

小源太はいさゝか當惑顔である

「イヤ病氣とあれば仕方がねへ別にためえさん一人のため勝けんくわが負けるでもあるめえ、よくなつて來て下さるなら十分だがあとにはつまらねやつご五人ばかり殘してあるだけ故、あいつらと一緒にるす番をしつかりしてもらつても結構だ」

源左衛門も作り病氣とも知らぬから、こう話す

「それぢやア親分、誠にすみませんがなほり次第參りますし、もしなほらずば子分衆と、るすをしつかり守り、ご勝利をいのりましやう」

「氣づかひしなさんな今に長吉のなき首を引さげてくるから安心をしてまつてゐておくんなさい」

源左衛門、小源太、丑膳、文吉の四名はしつかりとした四挺駕で一身田へ向つた

セール
ネル
帶側
平　龜田屋　電五七

貸地廣告
平町郡役所より稅務署附近の新開地に一千餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絶對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極く安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり戴けば社員がお伺ひして親しく御相談に應じます
小名濱商事株式會社
平出張所　電話六〇三番　五四番

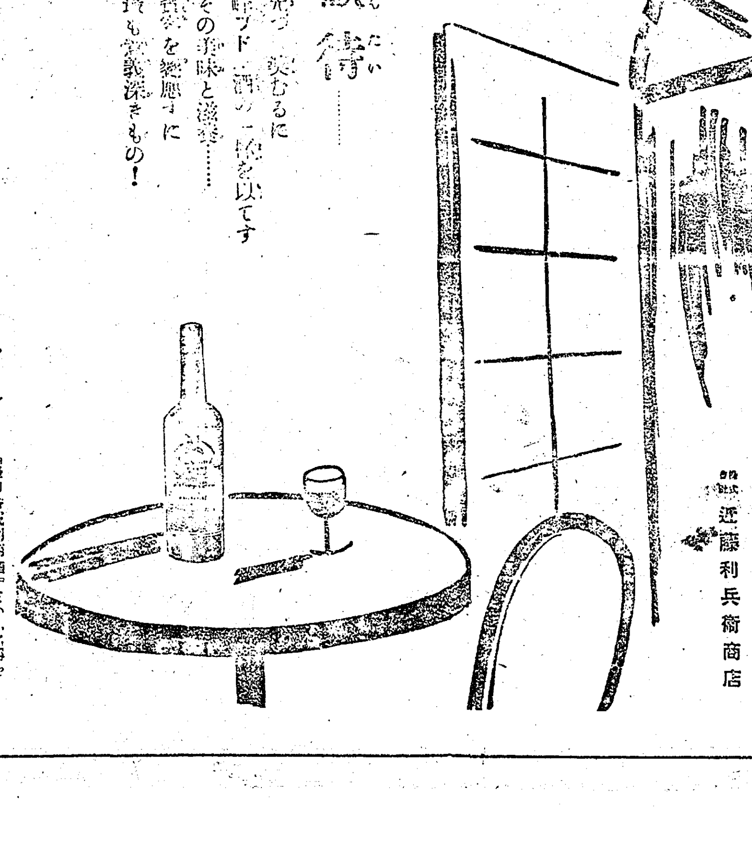
あらが染　元祿（げんろく）
發賣元　株式會社朋友商會
▲染色力……確實
▲使用法……頗る簡便
▲價格……低廉
定價……小瓶二五　中瓶三五　大瓶五〇
大販賣店　平町五丁目角　山野邊藥局

夜間診療
胃腸　内科　十二指腸虫病　專門　内科部
梅毒　淋病　婦人病　皮膚病　專門　外科部
平南町　松村病院　電話七〇

内科。外科。婦人科
小兒科　花柳病科
磐城病院
平町田町本通り（電話一一四番）
入院隨時

御料理　平新田町　喜柳　電話二一〇番

蜂ブドー酒
歡待……
先づ奨むるに
蜂ブドー酒の一杯を以てす
その美味と滋養……
歡待を絶頂すに
最も意義深きもの！
『蜂印香竄葡萄酒』といふ名稱を貴樣のお奨めに依り　凡は時勢の推移に鑑み　今後『蜂ブドー酒』と改めます　なほ市場にある從來のものは其儘として　御安心の上引續き御愛飲を願ひます
株式會社　近藤利兵衛商店



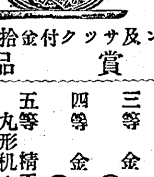
食用鳩（カルノー　ホワイトキング　シルバーキング）
プリユウセキセイ　オカメインコ
アカボタンインコ　カルカヤインコ
ダルマインコ　小紋鳥
一紅鳥　錦花鳥
白文鳥　白十姉妹
脊ノコリ小斑
平町田町本通り　ベニヤ小鳥店

診療開始
外科　花柳病科　專門
木村外科醫院
平町六丁目橋際（元〇久材木店跡）
入院自炊ノ便アリ

營業品目　絹糸、絹紡績　綿糸、染糸、組紐　漁網糸、人造絹糸　カタン糸、輸出用加工糸　真綿、其他糸物一式
東京市日本橋區通油町
株式會社　藤掛商店
電話浪花三三五一番　振替東京三三四〇番
糸界の羅針盤糸細通報御一報次第直送
小店員募集
十五才以上十七八才迄　五名
小學校卒業程度御希望の方は磐城新聞社御出で下さい。委細面談

產科婦人科主任トシテ醫學士野秋善直新任ス
赤心堂病院
平町字田町（電話四七五）
外科、耳鼻科、泌尿科　院長　新妻由五郎
產、婦人科　主任　野秋善直
内科　主任　小林四郎
X光線科
藥局　主任　木市寅下

丸形セイコー腕時計普及宣傳特賣
賞品付セイコー腕時計大賣出し
期間昭和三年三月十五日より七月一日迄
一本も空籤なし
示時正確



賞品　リボン及サック付金拾三圓均一
一等　金壹百圓（復興債券）五十本
二等　金五十圓（同）百本
三等　金拾圓（同）二百本
四等　金五圓（同）五百本
五等　精工舍製ニッケル丸形机上時計壹個　四萬九千餘個
賞金總額金拾萬貳千九百圓餘賣切ぬ内御早く御買上を乞ふ
特約發賣店　平町三丁目　大谷時計病院　電話一一九番

片倉の平製絲工場 敷地は月見町に決定
交通の便と町の將來に鑑み 年來の懸案愈々實現

製絲王國片倉組が二百萬圓の巨費を投じ平町に三百釜の一大製絲工場を設置すべく計劃遂に具體的進捗を見た結果昨一日片倉組藤森建築課長は平町が提出した工場敷地候補地の四ケ所に最後の斷案を下すべく實地踏査の爲め來平伏見町長、井上町議、外數氏の案內精細な

實地踏査を試みた結果比較的輕視せられてゐた傾きある町南東部月見町候補地を工場敷地と決定するに至つた、即ち同地を敷地と決定した理由は多々あるも交通の便は勿論今後平町は同方面に進展を見るは必定 工場設置に依つて更らに平町の南東部發展を急促ならしむる爲め等が重要決定理由と觀られゐる尚ほ

藤森課長は直ちに片倉組に報告重役の認を求める所あつたが重役會は此れを承認通過する事は勿論下斯くてさしもの地方民が緊張其の成行を氣支つてゐた製絲工場問題も全く一段落告げるに至つた

土地の買收は遲くも八月中に全部決定十月下旬までには會社に土地を引渡し直ちに工場設置の工事に着手來年五月一杯までに工場を竣成の豫定で此の工場に要する女工は約千名位いと言ふから平町に愈々工場竣成した曉は地方婦女の職業難に直ちに解決するばかりでなく平町急激の發展やがてはと見られてゐる

桑は大當り 石城の春蠶況 發育もよし

石城郡地方の春蠶は去月十四日頃までに全部掃立を終つたが蠶兒の發育は非常に良好である四月中霜害のため桑園が被害を受けたので蠶兒の發育期に入つて桑不足を告げるのではあるまいかと氣づかはれてゐるが最近は天候も回復し氣溫も順調なので從つて桑葉の發育もよくこの分なら桑不足を告げるやうな事はあるまい

今年秋に着工し 明春迄でに開業
所屬の女工一千名 地方の福祉甚大

別項の如く決定を見た製絲工場問題は直ちに地主間に土地買收交涉を開始するも共に資金二百萬圓の中半株株百萬圓の地方募株を開始する事になつてゐるが目下不況の折柄とて募株には相當困難あるものと豫想されてはゐるもの丶双葉郡富岡以南の養蠶家即ち同工場設置後之れを利用する養蠶家が郡下六千戸双葉郡下六千戸計一萬二千戸此れが春夏秋蠶は本郡二十萬貫双葉二十萬貫計四十萬貫の多きに達するので養蠶家一戸死三株平均に應募するとすれば三萬六千株の募株はさして難事でないと言はれてゐる此の

工場設置 問題に全力を擧げて地方福祉の爲めに努力して來た伏見町長、井上町會議員は交々語る

「愈々工場問題も敷地の決定を見直ちに募株に着手する事となりましたが市制速進の一助ともなる事で地方福祉の爲め慶賀に耐わない次第です」と々と語つてゐた

町會議員が熱心に 土地買收の交涉
地主も力めて犧牲的に 問題は順調に進轉

藤森片倉建築課長が實地踏査の結果遂に工場敷地と決定した候補地は平町南東部の月見町字三倉及倉前の二字南北百間東西七十間總面積七千坪の縣道東側の地點で此の中田地は約五千坪畑地約二千坪の割合で土地所有者は平町柏原幸次郎、根本久次郎の兩氏が各九百坪其の他十數名であるが前記地主に對しては候補地として平町の選定當時平町當局ではあらかじめ大體の諒解を得たが萬一を考慮して同方部選出の諸橋國松、吉田定太郎、松崎菊三郎、三町會議員、區長松崎久次郎其の他町有力者は決定敷地の土地所有者全部に對し全力を擧げて此れが買收交涉に當る事となつたが地方發展と地方福祉の爲めと言ふ點から地主連は各れも積極的に此れが買收交涉に應ずる筈で豫想以上速に進展するものと觀られてゐる

小田炭礦の 飯場問題 圓滿に解決

石城郡好間村小田炭礦に於て飯場の請負制度を撤廢することになりこれに對して飯場側で會社に抗議を申し込み紛爭を續けてゐたことは既報の如くであるが飯場代表と萩原社長とが折衝した結果現在請負つてゐる個所は据え置き新に開設する個所は會社の直轄となし自然消滅を待つと同時に入坑中手當として採炭夫一名につき七錢五厘、雜夫、選炭夫は四錢五厘を飯場頭に支出することの條件にて妥協が成立し會社側に有利な條件にて圓滿解決をみた

情死の研究〔五〕 心中の人柄と職樣

情死をした女の境遇を私の調査した三百組について見ると、娼妓が百十一人、藝者が五十一人、酌婦は二十七人、娘二十七人となつてゐる、またこれを昔のものでみると

△曾根崎心中のお初は娼妓△重井筒たふさは娼妓△二枚繪草紙お島は娼妓△卯月の紅葉たかめは商家の娘△心中萬年草は娘△今宮心中おまさは雇女△及は永の朔日小勘娼妓△牛玉心中おさがは娼妓△天の網島小春は遊女△心中宵庚申お千代は嫁△秋の白しぼりお染は娘△三勝半七の三勝は舞女△なんば心中八しほは遊女△梅田心中お高は遊女△下略

となつてゐて、私の調査と同じ傾向を見せてゐるところからしても必ずしも昔情死事件を娼妓にばかりとつて書いたものであるとは思はれない。

「金が敵か、敵が金か」といつた苦界に情死の多いのはある意味にたいて必然のやうな氣もする、金に困らぬ階級にも情死は絶無ではない然し、それは時偶に新聞を賑す位のもので、普通の家庭の婦女子には、死ぬほどの戀をしてゐる境遇的にそこにある餘裕も方法もある、駈け落することも出來る心にも物質にもいくらか自由であるが故に死なずにすむのである、そこへ行くと境遇的に自由を束縛され金といつても少しの融通を持たない苦界の女たちは死を選ぶより道がないと思ふのは無理ないことであることの頃でこそ目醒めた女たちによつて自由廢業などが行はれてゐるが多くのそれらの女はまだそういふ方法をとり得ないのである'

以下統計から見た情死の假說をあぐれば

（一）情死は多く春夏に行はれ殊に春季に著しく時刻は拂曉が多い

（二）年齡は始んど青年男女である

（三）職業は男の商工、女の娼妓藝者に多い

（四）發意は多く女である

（五）原因は金と義理

といふ結論を得る、要するに情死は戀愛悲劇であつてよく戀は魔物といふが、實は曲者でも魔物でもなくそれを包む經濟狀態と社會道德とか、その戀を阻むかためにに戀を一種の罪惡かの如く見るのである何故に彼らが情死するかを考へた時にその死の誘因をなす社會にも缺陷があることに想ひ到らねばならぬ、徒らに死ぬもゝみに鞭を加ふべきではない即ち第一に日本家族制度は男女の戀愛を認めない、そのため多くの若人たちがいかに惱んでゐることか、故にある程度の家族制度の改善を計らねばならぬ、第二は男女の交際機關を設けて異性に對して正しい觀察を指導せねばならぬ、第三には遊蕩氣分を助長せしめるが如き場所、又は營業者の改善を行ふこと、それらが今後情死者を少くする有力なる方法ではあるまいか（終り）

非常刑事の 非常手配 疑問の男逮捕

平署猪狩署長は今二日午前一時青田部長以下各刑事を非常召集を行ひ全町に亘つて非常手配を命じたが出動した青田部長が同午前三時三十分頃平町古鍛冶町踏切附近を警戒中同所附近を徘徊してゐる一人の怪漢を發見誰何するや矢庭に逃走したので追跡格鬪の末遂に逮捕本署に引致嚴重取調た結果此奴は當時住所不定無職山形縣西田川郡本郷村生前科三犯落尾辰吉（三七）と自稱するのみで他は口を噤して語らないので引續き嚴重取調中であるが金時計其の他賍品を覺しき物數點を所持してゐる處から或は近來の大捕者ではないかと觀られてゐる

好間村助役の 適任者選衡難
多少の曲折はあるが 結局は高木氏か

本郡好間村では久しく助役が欠員中で候補者を物色してゐた結果村長金成淺治氏は同村高木委彌氏を助役に推薦したが村會議員中二三の反對あり同問題は一時沙汰止みの姿でゐたが久しく助役の欠員は村治の上に幾多の支障があると言ふので村會は助役詮衡委員を擧げ適任者を物色中金成村長推薦したる高木秀彌氏が適任であると一決し來る四日午前十時から臨時村會を召集委員會の申請にもとづいて助役の詮衡をなす事となつた相當な波亂があるものと豫想されてゐるが結局は高木氏の就任を見る模樣である

石城の礦區 試掘を許可さる

本郡下所在左記鑛區は出願中のところ今回試掘を許可された

石城郡江名町鹿島村石炭八九五〇〇〇坪東京市京橋區銀座二ノ入山採炭株式會社△石城郡高久村飯野村石炭九九六〇〇〇〇坪磐城炭礦株式會社△同郡夏井村高久村飯野村石炭九九四七〇〇〇坪同社△同郡上遠野村渡邊村石炭九三八〇〇〇坪同社△同郡山田村川部村同二八六四〇〇坪同町淺野同族株式會社△石城郡田人村石炭一二七七八〇坪千葉縣東葛飾村川部德恒△石城郡山田村石炭二三五六〇〇坪東京市京橋區銀座三丁目晩成事業株左會社

平土木管內の 改修工事進涉
既に國道全部を終り 今度は縣道改修

平土木監督所が四月九日からローラー千二百貫のトラクターを運轉し改修中であつた所管國道 總延長十七里六町八間及び縣道七十八里十二町七間中國道に屬する路面工事は大體終了し目下縣道路面の完成に努力中で小名濱經由江名泉間三里餘路面はまづ模範的道路と目され平小野新町間八里三十二町の路面は十五日間もかゝつて現在では自動車も立派に通り地方交通に便宜を與へてゐるが

同所では六月末までを第一期事業の完成にあて各路面の橋りよう橋脚の狀態も充分調査し全路面の完成を期すはずである

小名濱捕鯨開場 きのう盛大に擧行した 事業場開場式

東洋捕鯨株式會社小名濱事業場の開場披露式は昨一日午後三時より小名濱築港埋立場內の同場に於て擧行した、定刻小名川神官の奉詞に型の如き式を初め鈴木町長、小野前縣議、小濱消防組頭其の他玉串を捧げ大野場長の挨拶鈴木町長の來賓總代の祝辭により更に午後五時より新米旅館に於て特別宴會を開主客十二分の歡を盡して午後七時散會したが來賓百餘名に達し非常の盛會であつた

石城産馬檢査

縣種馬所では石城郡産馬畜産組合管內各村にたいて左記日割にて産駒檢査を執行し血統書を交付する筈であると

六月二十四日上遠野村、二十五日田人村、二十六日澤渡村

大敷に大亀 酒五升をペロリ

昨一日午後二時小名濱大敷網に長さ一間餘の大龜掛り舟員一同總掛りにて魚市場まで引上げ、清酒五升を勸めたるにまたゝく間に平らげ、何飲み足らぬ樣子にて悠々と海中に沒したが、豊漁の瑞兆ならむと、同漁場ではホクホクものであると

四倉町々會 左の條件を附議

石城郡四倉町では四日午前九時から町會を招集して左記案件を附議する筈

一、昭和三年町税特別前期戸數割賦課額決定の件

一、昭和三年度縣税家屋税賦課法方決定の件

一、昭和三年度縣税前期海面漁業税賦課額決定の件

一、寄附物件採納の件

一、枯損木處分の件

いちご出廻る 盛りは四五日頃

石城郡神谷村縣農事試驗場の苺は近年同場第一の呼び物となつてすがすがしい初夏の朝まだき平附近から散策の人たちに清新な感興を與へ來つたが今年も稻田場長以下の丹精で最近もの見事に熟成しさる廿八日初もぎりをなし引續き收穫中で四五日頃が盛りと見られてゐる、因に試驗場での相場は百匁廿錢位の由

御子柴初子さんが 松竹のスターに
映畫女優として運動に大活躍

頌榮高等女學校時代から水泳を初め凡ゆる運動選手として名を打つた御子柴初子さんが今度松竹蒲田のスターとして映畫入りをした、初子さんは本年二十二才の若々しさ、女子陸上競技の記錄としては大正十一年に走り幅飛で優勝し、水泳は十才位から鈴木御明等の指導を受けて水泳界の花形として謳はれて居たことは定評のあるところ、この他に乘馬、テニス、自轉車等何れも男子以上の腕達者、五尺以上ある體軀は邦人には珍らしい優秀さを持つて居る、このスポーツマンとして立派な初子さんが水ならぬ映畫界を如何に泳ぐか大きな興味を以つて見られて居る。

長二郎の「天平時代」 小石榮一監督

マキノから下加茂に入社した小石榮一監督の第一回作品については其後いろいろ詮衡中であつたが此の程「天平時代」と決定した特に原作を關西文壇の大家大森痴雪氏に依囑せしものを前川孤泉氏が入社第一回の脚色に依るものである物語は今から千二百年前王朝華かなりし天平時代にとり、筑紫で悲戀の淚を呑んで自刄した父及び藤原廣嗣のために仇兒石川沙彌麿が僧玄昉に誅を加へ戀して居た乙女さくら兒を得る迄を描いたもので主役の沙彌麿には長二郎が扮してダグラス張の快技を見せる他、久方ぶりで千早晶子がさくら兒で共演することになつて居る、因に美術考證は特に吉川寬方畫伯が擔當することになつた。

「てれすこ」改題

佐藤監督の時代喜劇「てれすこ」は「珍魚」と改題された。

松竹映畫「十字路」

F・B・O映畫「鐵火トムスン」

東西映畫會社輸入F・B・O映畫デザイド・カークラフト監督フレッドトムスン、オリーヴ・ハスブルック主演「鐵火トムスン」は二十日から封切られた。

封切られた マキノ「嵐」 檢閱が通過して

マキノ映畫オールスターキャスト「落花亂刄」は「嵐」と改題され永い間檢閱を保留されて居た今度漸く通過して二十日から封切された。

ツ [illegible]「コークス」

煙ノ少ナイ[illegible]キノ理想的石炭ト「コークス」
灰ノ少ナイ夏向キノ理想的石炭ト「コークス」
物ハ試メシ一俵御使ヘ下サイ
品質本位ハ當店ノ信條デス
石炭正味十貫目 金六十五錢
平驛前 ツ阿部石炭商店
電話二三七番へ…直グ配達致シマス

內科、小兒科（院長每日診察） 院長 醫學博士 難波睦
內科部長 粟野省三
外科一般花柳病科 外科部長 醫學士 氏家憲介
產婦人科 產婦人科部長醫學士 五十嵐雄二
藥局 藥局長 吉本孝平
本院主事 賀澤忠治 電話七二番
獨逸シーメンス、ユニバーサル、ヘリオドル
最新 X光線裝置 五月十日ヨリ診療開始
主任 醫學博士 難波睦
入院自炊ノ便アリ
看護婦募集
磐城 共濟病院 平町 電話六四一番

◆初夏の飲料
サツポロ キリン ビール
リボンシトロン
御注文次第直ちに配達いたします
平町四丁目平驛通り
銘酒 由良の助 瓶詰 出張販賣所 電話二〇七番

內科、小兒科 花柳病科 入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町 電話五〇七番

良品廉賣に勝る商略なし
磐城平町五丁目
磐城セメント株式會社特約代理店
和洋銅鐵 金物問屋 久 釜屋商店
諸橋久太郎
電話九番 一三九番
振替貯口金座東京一〇九五六番
確實敏捷は久の生命なり